



報道関係者各位

2014年9月25日
青森県立保健大学

地域連携・国際センター

静脈注射学び直し研修について

I. これまでの経緯

静脈注射は看護職が多くの場面で遭遇する看護技術で、単なる手技にとどまらず、患者の安全を考慮するための知識・技術に裏付けされていなければなりません。平成 14 年に保健師助産師看護師法の行政解釈の変更で「静脈注射」が看護職の業務の範疇となったことから研修会が各施設で行われ、青森県立保健大学では文部科学省の委託事業として、【医療安全にかかわる看護技術「静脈注射」の学び直しプログラム】を平成 21 年度まで実施し終了しました。しかし、看護職のニーズが高いことから、研修会を再開し、平成 25 年度は資格を持ちながらも暫く看護の仕事から遠ざかっていた看護職や新卒看護職を対象に、初級編として静脈注射の学び直しの研修会を開催し、高い評価を得ることができました。また、アンケートでは、もう少し知りたかった講義として「薬剤に関する基礎知識」と回答した参加者が最も多く、看護職の薬剤管理に対する関心の高さが伺われました。

そこで今年度の静脈注射学び直し研修会では、更なる専門的知識の学び直しをめざし、速度管理に焦点を当てた講義と演習を企画しました。

II. 研修会の概要

1. 開催日時

平成 26 年 9 月 15 日 (月) 祝日 9:20~16:00

2. 場所

青森県立保健大学 A 棟 3 階 A 3 0 5 教室、基礎成人看護実習室

3. 対象者及び募集人数

県内の 100 床以下の病院、または、訪問看護ステーションに勤務し、輸液ポンプやシリンジポンプの操作に関わる(予定の)業務をしている看護師で、根拠に基づいた知識・技術習得を希望する看護職 30 名

4. プログラム

9:20~ 9:30 オリエンテーション

9:30~11:00 薬剤管理の基礎知識

講師：青森県立中央病院 薬剤部部長 工藤 久美子 氏

11:10~12:00 午後の演習説明

血管確保～抜針デモンストレーション

講師：青森県立保健大学 助教 小池 祥太郎 氏

13:00~13:50 輸液ポンプ・シリンジポンプ使用の説明

デモンストレーション：テルモテクニカルチーム、青森県立保健大学教員

13:50~15:50 演習(基礎成人看護実習室)

血管確保、輸液ポンプ・シリンジポンプの操作、抜針

(3 人一組で、腕シミュレーターに実施する。)

5. 参加費

材料代及び資料代実費負担分として、2,000 円を当日（9/15）徴収。

Ⅲ. 研修会の状況

参加者 12 名の所属施設は、病院 5 名、訪問看護ステーション 3 名、診療所 2 名、訪問看護ステーションのある病院 2 名で、昨年度の初級編に続き参加した受講者が 2 名いた。研修会受講の目的は、静脈注射に関する知識・手技の確認や、輸液ポンプの正しい使用方法について忘れないよう学び直したい、ブランクがあり注射業務に自信がなかったため、などがあった。

薬剤や輸液ポンプ・シリンジポンプの基本的知識を講義で学び、デモンストレーションで実施した物品と方法を基に、演習では 2 人一組で腕シミュレーターに静脈留置針留置による点滴を実施した。その後、輸液ポンプ・シリンジポンプのデモンストレーションで操作を学び、演習を繰り返した。トラブルシューティングの例として挙げたポンプ作動中の閉塞トラブルについては根拠を踏まえた説明と実演で、微量投与すべき薬液が一時的にも過量投与になる危険性を理解し、対策についても学ぶことができた。意見感想には、演習に関して満足したことや、今後の自己学習について意欲を見せる内容もあった。意見の中には、勤務表が作成される前に開催の案内が欲しいという要望もあった。

—講義及び演習の風景—



問い合わせ*****

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

地域連携・国際センター

TEL:017-765-4089 FAX:017-765-2021

担当：静脈注射学び直し研修部会 委員長 福井幸子

事務局 地域連携推進課 岡嶋雅昭

平成26年度 静脈注射学び直し研修会

9/15(月) 9:20~16:00【講義・演習】

会場：青森県立保健大学

【講義】

- 薬剤管理の基礎知識
講師：青森県立中央病院 薬剤部部長 工藤 久美子氏
- 輸液ポンプ及びシリンジポンプの正しい使用方法
講師：テルモ株式会社 横内 義孝氏

【演習】

- 血管確保～抜針デモンストレーション
講師：青森県立保健大学 助教 小池 祥太郎氏
- 輸液ポンプ・シリンジポンプの操作
- 速度管理におけるトラブルシューティング
講師：テルモテクニカルチーム及び青森県立保健大学教員

※採血・静脈シミュレーターを用いた本格的な演習です。
一般的に使用されているタイプの輸液ポンプやシリンジポンプ、及び実際の薬剤や衛生材料を使用します。



看護職にとってニーズが高い静脈注射の研修会ですが、今回は『輸液の速度管理』に注目して開催します。
輸液ポンプやシリンジポンプの操作について、根拠に基づいた知識・技術をもう一度学び直してみませんか？

- 対象者：輸液ポンプ及びシリンジポンプの操作による速度管理の経験（または予定）がある看護職
根拠に基づいた知識・技術の習得を希望する看護職
- 募集人数：30名
- 受講料：材料費の実費代2,000円を当日（9/15）に受付にて徴収いたします。
- 申し込み方法：専用の申込用紙に氏名、年齢、看護師業務経験年数、勤務先、連絡先などの必要事項を記載して、FAX（017-765-2021）もしくはメール（m_okajima@auhw.ac.jp）にて青森県立保健大学地域連携推進課「静脈注射学び直し研修会」担当宛までお送り下さい。
- 申し込み〆切：平成26年9月5日（金）【※期日を平成26年8月21日から延長しました！】
※本学ホームページにも実施内容ならびに申し込み用紙を掲載しています。
※応募多数の場合、時間調整または選考となることもあります。